

事例検討会



まだ病気を受け入れられない 高齢者への意思決定支援について

～ 進行性難病のため走りながら関わっているケースから考える ～

皆さまも病気の受容ができていない方や、日が浅く関係性のできていない方の意思決定支援に関わるという経験をされたことはないでしょうか？

今回の事例のご本人さまは、ALSに罹患したことへの気持ちの整理ができておらず、症状の良し悪しによって、気持ちも日々変化している状況。

「このままここで住み続けたい」というご本人の希望に沿うべく、チームで支援しているところですが、支援者も担当してからの日が浅いため、まだ関係性の構築ができていません。

しかし、このような状況にあっても、進行する病気であるため、今後どうしていきたいのか、本人の気持ちを聞き、今後の生活に向けて様々決めていく必要があります。

本事例を通じて、病気の受容過程での意思決定支援や多職種連携等について、参加者の皆さまと考えていきます。また、地域包括支援センターの職員の役割や連携についてもお伝えしたいと思います。

日時

令和4年8月6日(土)
10時00分～12時00分

定員

120名

今回はZoom開催です



コーディネーター

練馬高松園地域包括支援センター 加藤 康大氏(主任介護支援専門員)

パネリスト

居宅介護支援事業所ICケア 金山 美江氏(主任介護支援専門員)
訪問看護ステーションはな練馬 福嶋 愛氏(看護師)



申込方法は裏面へ

対象

練馬区内の事業所にお勤めの方

医師・歯科医師・薬剤師・看護師・病院職員・ケアマネジャー・サービス提供責任者・介護士・リハビリテーション専門職・地域包括支援センター職員等
定員を超えた場合、対象地区の光が丘地域（〒179）の事業所を優先に受け付けます。

申込

申込方法：以下の方法で、インターネットによりお申し込みください。

電子申請フォームを使う

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1653351998320>

二次元バーコードを読み取る



申込〆切：令和4年6月30日（木）

参加費用は無料です。

参加申し込みの結果については、受講日の1週間前頃までに、**メールにて送付します。**
郵送は行いません。

問い合わせ先：練馬区地域医療課医療連携担当係 電話 03-5984-4673

E-mail IRYOSHISSETSU@city.nerima.tokyo.jp



事例検討会とは？

在宅療養に関わる医療・介護の多職種が相互理解を深めるため、多職種で集まり事例の紹介やグループワークを行う会です。練馬・光が丘・石神井・大泉の4地区ごとに行っています。

詳細は区ホームページをご覧ください。または、二次元バーコードにて！



皆様のご参加
お待ちしております！

本事業は、生涯教育制度の対象事業です。

日本医師会：

1.5単位 カリキュラムコード：13

日本歯科医師会：

4単位

日本理学療法士協会：

地域包括ケアシステムに関するリーダー制度

日本薬剤師研修センターのポイント発行は、行われないこととなりました。ご注意ください。

当日事例検討会に参加された方のうち、希望者には後日お渡しします。

主催：練馬区地域医療課

後援：練馬区医師会、練馬区歯科医師会、練馬区薬剤師会、東京都理学療法士協会